

令和8年度開設予定大学等一覧

1 大学を設置するもの 3校

令和7年8月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	コー・イノベーション大学	共創学部 地域共創学科	120	岐阜県飛騨市	学校法人 CoIU (申請者 一般社団法人CoIU設立基金)	<p>○設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>○2年次以降、年に2回程度、授業・実習とは別に発表会の機会を設ける計画であることから、学生同士の「共創」の促進を図る観点から着実に実施するとともに、発表会以外にも学生同士の交流の場を設けるなど、充実を図ること。</p> <p>○本学部の特色の一つである「ボンディングシップ」(2年次・通年20単位)について、全学生が受講する必修科目、かつ、全国8つのエリアで学生が実践的な学びを行う授業科目であることから、以下の点も踏まえつつ着実に実施するとともに、不断の検証を行うことにより、教育内容の充実に努めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボンディングシップ」は、大学の教育課程として位置付けられる点、及び教育研究の継続性の観点から、適切な実習先について、安定かつ継続して確保できるように努めること。 ・学生の履修及び教員の指導等が計画通りに進まない場合など、不測の事態に備え、フォローアップや臨機応変に対応できる体制を整えておくとともに、実施状況について不断の検証を行うこと。 ・教員が学生に対する指導に積極的に関わるのが重要であるが、相当な負荷がかかることが想定されることから、教員の業務量、研究時間について配慮すること。また、ボンディングシップに関わる教員の指導担当の割当てについては、特定の分野の教員に偏りが起こらないように配慮すること。 <p>○経営学的な意思決定手法については、個人に着目した観点のみならず、企業や経営戦略的な意思決定も重要であると考えられることから、プロジェクトを進める上で必要な教育内容について検証することが望ましい。</p> <p>○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p> <p>○学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。</p> <p>○認可後に補助金(飛騨市)を収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。</p>	<p>【遵守事項】</p> <p>【遵守事項】</p> <p>【遵守事項】</p> <p>【助言事項】</p> <p>【遵守事項】</p> <p>【助言事項】</p> <p>【遵守事項】</p>

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
1	(コー・イノベーション大学)					<p>○長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、新設組織に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどして、戦略的な学生募集活動に取り組むとともに、学生確保の実態を踏まえ、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。</p> <p>○審査の過程において提出書類の不備が見受けられたこと等を踏まえ、関係法令の遵守、学校法人会計基準にのっとり適切な会計処理及びガバナンス機能の強化等、理事長や学長をはじめとした構成員が法人内で果たすべき役割を十分に認識した上で、法人運営を行うこと。</p>	<p>【遵守事項】</p> <p>【遵守事項】</p>

区分	大学等名	学部・学科等名	入学員 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
私立	大阪医療大学	医療看護学部 理学療法学科 看護学科	40 40	大阪府大阪市	学校法人 塚本学院	<p>○設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 【遵守事項】</p> <p>○ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの関係について、例えばDP2における「理解的態度と観察力」に関して、カリキュラム・ポリシーによってどのように達成する計画であるのかを分かりやすく示すなど、学生が適切に理解することができるよう、オリエンテーション等において十分に周知すること。（医療看護学部看護学科） 【遵守事項】</p> <p>○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び教育課程の関連性について、学生が適切に理解した上で履修することができるよう、カリキュラム・ツリーの資料を改善するなどにより、十分に周知すること。（医療看護学部看護学科） 【遵守事項】</p> <p>○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 【遵守事項】</p> <p>○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。（医療看護学部看護学科） 【遵守事項】</p> <p>○会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 【理事会及び評議員会の開催順序（中期計画の策定）】 【遵守事項】</p> <p>○令和5年度、令和6年度中に開催された理事会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。 【助言事項】</p> <p>○令和4年度から完成年度にかけて法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。 【助言事項】</p> <p>○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率） 【助言事項】</p> <p>○既設組織の定員超過の改善に取り組むこと。（大阪芸術大学芸術学部美術学科、キャラクター造形学科） 【遵守事項】</p> <p>○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科） 【遵守事項】</p> <p>○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（大阪芸術大学短期大学部保育学科、通信教育部） 【遵守事項】</p>	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
2	(大阪医療大学)					<p>○監事監査について、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、着実な実施と充実に努めること。</p> <p>○関係法令の遵守及びガバナンス機能の強化等、理事長をはじめとした構成員が果たすべき役割を十分に認識した上で、法人運営を行うこと。</p> <p>○既設組織で定員未充足の状態が生じていることや学校法人全体の経営状況が悪化傾向にあることを踏まえ、教育の質や研究環境の維持を前提とした上でリスクシナリオにおける経営改善方策について着実に実施するとともに、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。</p>	
3	私立 武雄アジア大学	東アジア地域共創学部 東アジア地域共創学科	140	佐賀県武雄市	学校法人 旭学園	<p>○設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>○本学の教育研究上の目的、養成する人材像及び3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー)などの設置の趣旨・目的等が学生や地域社会等に対して適切に伝わるよう、丁寧に説明すること。また、それを通じて、入学希望者の確保、並びに養成する人材像に即した卒業後の進路先の確保及び充実に、継続的に取り組むこと。</p> <p>○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p> <p>○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。</p> <p>○完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。</p> <p>○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。(繰越収支差額構成比率)</p> <p>○認可後に補助金(武雄市)を収納予定であることから、収納後、速やかにその旨を報告すること。</p>	
計	3校	3学部 4学科					